

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和2年度事業点検・評価調書

4-I-11

4-I-11

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	二次交通の充実・改善
節	I.アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	11 貸切バス、ハイヤー・タクシー、レンタカー、レンタサイクル等の充実	事業主体	佐渡市交通政策課
事業実施期間	H28～R4	関連団体	佐渡市観光振興課、佐渡観光交流機構、佐渡地区ハイヤー協会、新潟交通佐渡(株)
事業概要	【事業目的】	○ 官民連帯により、繁忙期、冬期を考慮した二次交通の充実を図る。	
	【事業内容】	○ 利用需要に対応した必要台数の確保を図る。 ○ 観光優良ドライバーライセンス・運転者登録制度の活用により、ハイヤータクシードライバーのホスピタリティの向上を図る。	
事業計画と実績	【R2年度計画】	● 小木地区でのシェアサイクルの導入を検討する。	
	【R2年度実績】	● 佐渡観光交流機構が従来の電動アシスト自転車(通称「エコだっちゃり」)より、走行性能が高い電動アシスト自転車(ロードスポーツタイプ)を新たに13台、小木地区に整備した。	
課題・今後の取組	【課題】	■ 団体旅行から個人旅行に変わり、旅行者の多様なニーズや繁忙期に対応する交通手段の確保が課題である。	
	【今後の取組】	■ 小木地区における電動アシスト自転車の利用を促進するとともに、R3年度は相川地区にロードスポーツタイプ電動自転車(ロードスポーツタイプ)を5台導入し、観光客等の移動ニーズに対応する。(西三川地区への導入は未定。)	
事業評価	【事業の達成度】 〔 a ● b ● c 〕	◇ シェアサイクルの導入が計画とおり実施できたのでB評価とした。	
	【事業実施の効果】 〔 a ● b ● c 〕		
	【総合評価】 〔 A ● B ● C 〕		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。